

## 高嶺 格

- 1968 鹿児島県生まれ  
1991 京都市立芸術大学工学科漆工専攻卒業  
1999 岐阜県立国際情報科学芸術アカデミー (IAMAS) 卒業

## 主な個展

- 2016 「兄弟：高嶺格個展」 TKG+ Projects、台北、台湾  
「ART BASEL HONG KONG 2016」 香港コンベンション&エキシビジョンセンター、香港  
「ビデオアートプログラム B 高嶺格」 広島市現代美術館、広島
- 2014 「てさぐる」 秋田公立美術館、秋田  
「Japan Syndrome」 Hebbel am Ufer、ベルリン、ドイツ
- 2013 「Japan Syndrome - Utrecht Version」 CASCO、ユトレヒト、オランダ
- 2012 「高嶺格のクールジャパン」 水戸芸術館現代美術ギャラリー、茨城  
「ジャパン・シンドローム～山口編」 山口情報芸術センター、山口
- 2011 「とおくてよくみえない」 横浜美術館、横浜、神奈川/広島市現代美術館、  
広島/霧島アートの森、鹿児島/ IKON Gallery、バーミンガム、U.K.  
「ジャパン・シンドローム step1 球の裏側」 京都芸術センター、京都  
「スーパーキャパシターズ」 アートフェア東京、東京
- 2010 「Good House, Nice Body ~いい家・よい体」 金沢 21 世紀美術館、金沢、石川  
「FOCUS 3 高嶺格：SUPERCAPACITORS」 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、香川
- 2008 「大きな休息 明日のためのガーデニング 1095 m<sup>2</sup>」 せんだいメディアテーク、宮城  
「The SUPERCAPACITOR/スーパーキャパシタ」 ARATANIURANO、東京
- 2007 「Baby Insa-dong」 AD&A gallery、大阪
- 2006 「For Yingarna」 Gertrude Contemporary Art Space、メルボルン、オーストラリア
- 2005 「おさらい」 高橋コレクション、東京
- 2003 「在日の恋人」 NPO 丹波マンガン記念館内坑道跡、京都
- 2001 「Do what you want if you want as you want」 児玉画廊、大阪
- 2000 「冬の海」 CAI 現代芸術研究所、北海道
- 1999 「Muted Space」 ヴォイスギャラリー、京都
- 1990 「高嶺格の愛の資料館」 ヴォイスギャラリー、京都

## 主なグループ展

- 2018 「メディアアートの輪廻転生」山口情報芸術センターホワイエ、山口  
「archi + anarchy II III II」 URANO、東京  
MOMAT コレクション「ようこそスミスさん」東京国立近代美術館 2F12 室、東京  
日本・キューバ現代美術展「近くへの遠回り」ウィフレド・ラム現代美術センター、ハバナ、  
キューバ  
文化庁メディア芸術祭京都展「Ghost (ゴースト)」ロームシアター京都 (ノースホール)、京都  
コレクション展「ビルディング・ロマンスー盲目と洞察ソフィ・カル、ライアン・ガンダー、  
河原温、小泉明朝、高嶺格」豊田市美術館、愛知
- 2017 「INVISIBLE CITIES」〈「Fukushima」上映会〉Dallas Contemporary, テキサス, アメリカ  
「コンニチハ技術トシテノ美術」せんだいメディアテーク、宮城  
「あきたの美術 2017」秋田県立美術館、秋田  
「OK. Pangun OK.Video - Indonesia Media Arts Festival 2017」Gudang Sarinah Ekosistem、  
ジャカルタ、インドネシア  
「A Spring Exhibition」Centre A Vancouver International Centre for Contemporary  
Asian Art、バンクーバー、カナダ  
The Japan Media Arts Festival Special Exhibition in Singapore 「Landscapes: New vision  
through multiple windows」Japan Creative Centre (JCC)、在シンガポール日本大使館、  
シンガポール
- 2016 「ふぞろいなハーモニー」広島市現代美術館、広島 / 關渡美術館、台北、台湾  
「Sight and Sounds: Japan」ジュエッシュ・ミュージアム、ニューヨーク、米国  
サーチプロジェクト vol.5 「ニュー"コロニー／アイランド"2 ～災害にまつわる所作と対話～」  
アートエリア B1、大阪
- 2015 「明日の拷問」ココラボラトリー、秋田  
「生命の徴ー滋賀と「アール・ブリュット」ー」滋賀県立近代美術館、滋賀  
「ヒア・アンド・ナウ」ARATANIURANO、東京  
「PARASOPHIA 京都国際現代芸術祭 2015」京都市美術館、京都府京都文化博物館、京都  
「横浜美術館コレクション展 2015 年度 第 1 期 身体からかんがえる コレクションにみる身体  
表現ー現代美術を中心に」横浜美術館、神奈川  
「We can make another future: Japanese art after 1989」Gallery of Modern Art (GOMA)、  
ブリスベン、クイーンズランド、オーストラリア  
「Discordant Harmony」Art Sonje Cente、ソウル、韓国
- 2014 「Still Moving: A Triple Bill on the Image」The Singapore Art Museum, Singapore  
「コレクション・ギャラリー 2014 (平成 26) 年度 第 2 回展示」京都国立近代美術館、京都  
「My Voice Would Reach You」Rice Media Center、Rice University、ヒューストン、米国

- 「Politics of Food」 Delfina Foundation、ロンドン、イギリス
- 2013 「堂島リバービエンナーレ 2013 - Little Water」 堂島リバーフォーラム、大阪
- 「Unknown Forces - Gestures beyond Surfaces」 MSGSÜ Tophane-i Amire Culture and Arts Center、イスタンブール、トルコ
- 「KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭2013」 京都芸術センター ギャラリー北、京都
- 「白金アートコンプレックス5周年合同展覧会 メメント・モリ～愛と死を見つめて～」 ARATANIURANO、東京
- 「新しい物語のはじまり」 都城市立美術館、宮崎
- 「Re:Quest—1970年代以降の日本現代美術」 ソウル大学校美術館、ソウル、韓国
- 2012 「アノニマス・ライフ 名を明かさぬ生命」 NTT インターコミュニケーション・センター(ICC)、東京
- 「釜山ビエンナーレ2012 Garden of Learning」 釜山市立美術館、韓国
- 「第7回アジア・パシフィック・トリエンナーレ(APT7)」 クイーンズランド州立美術館、ブリスベン、オーストラリア
- 「ダブル・ヴィジョン—日本現代美術展」 モスクワ市近代美術館、ロシア/ハイファ美術館群、イスラエル
- 「第4回恵比寿映像祭 映像のフィジカル」 東京都写真美術館、東京
- 2011 「癡行者—宮津大輔：一位工薪族的當代藝術收藏展」 MOCA Taipei/台北當代藝術館、台北、台湾
- 2010 「あいちトリエンナーレ 2010」 セツ寺共同スタジオ、愛知
- 「反応連鎖—ツナガルシクミ」 国際芸術センター青森、青森
- 「Life with Art」 京都精華大学ギャラリーフロール、京都
- 「ネオテニー・ジャパン—高橋コレクション」 愛媛県美術館、愛媛
- 「マイ・フェイバリット—とある美術の検索目録/所蔵作品から」 京都国立近代美術館、京都
- 「六本木クロッシング 2010 展：芸術は可能か？」 森美術館、東京
- 「小泉八雲生誕160年記念・来日120年記念 へるんさんの秘めごと」 熊本市現代美術館、熊本
- 「まばゆい、がらんどろ」 東京藝術大学大学美術館、東京
- 2009 「TWIST and SHOUT: Contemporary Art from Japan」 バンコク芸術文化センター、バンコク、タイ
- 「I BELIEVE—日本の現代美術」 富山県立近代美術館、富山
- 「ネオテニー・ジャパン—高橋コレクション」 上野の森美術館、東京/新潟県立近代美術館、新潟/秋田県立近代美術館、秋田/米子市立美術館、鳥取
- 「近代の東アジアイメージ—日本近代美術はアジアをどう描いてきたか」 豊田市美術館、愛知
- 「The Demon of Comparisons」 (企画：Electric Palm Tree)
- アムステルダム市立美術館ピュロー、アムステルダム、オランダ
- 2008 「大友良英/ENSEMBLES—orchestras」 山口情報芸術センター、山口
- 「ネオテニー・ジャパン—高橋コレクション」 霧島アートの森、鹿児島/札幌芸術の森美術館、北海道

- 「茂木健一郎・はな・角田光代・荒木経惟 4人が創る『わたしの美術館』展」横浜美術館、  
神奈川
- 「音箱展」神戸アートビレッジセンター、兵庫
- 「わたしいまめまいしたわ 現代美術にみる自己と他者」東京国立近代美術館、東京
- 2007 「美麗新世界：当代日本視覚文化」広東美術館、広東、中国
- 「Tomorrow」錦湖美術館、ソウル、韓国
- 「Déjame fluir」Espai zer01、スペイン
- 「ART LAN@ASIA—アジアの新現代美術！！」ZAIM、神奈川
- 「水の情景—モネ、大観から現代まで」横浜美術館、神奈川
- 「Out of the Ordinary: New Video from Japan」ゲティーセンター&ロサンゼルス現代美術館  
(MOCA)、ロサンゼルス、米国
- 「開館 25 周年特別企画展 南九州の現代作家たち メッセージ 2007」都城市立美術館、宮崎
- 2006 「IMAGINARY CHUYA／映像としての中世のことば」山口情報芸術センター、山口
- 「Rapt! 20 Contemporary Artists from Japan」ガートルード・コンテンポラリー・アート・  
スペース、メルボルン、オーストラリア
- 「Aesthetics/Dietetics」ベルガモ近現代美術館 (GAMEC)、ベルガモ、イタリア
- 「12 時間美術館」パナソニックセンター、有明、東京
- 「SOURCE OF LIFE はじまりの水—IAMASin yokohama」BankART Studio NYK、神奈川
- 2005 「横浜トリエンナーレ 2005」山下ふ頭、神奈川
- 「身体の夢 Visions of the Body 2005」ソウル市立美術館本館、ソウル、韓国
- 「オープン・ネイチャー 情報としての自然が開くもの」NTT インターコミュニケーション・  
センター(ICC)、東京
- 「きのうよりわくわくしてきた。ブリコラージュ・アート・ナウ 日常の冒険者たち」  
国立民族学博物館特別展示館、大阪
- 「景観—もとの島」せんだいメディアテーク、宮城
- 2004 「取手アートプロジェクト 2004」取手市内、茨城
- 「Past in Reverse : Contemporary Art of East Asia」サンディエゴ美術館、サンディエゴ、USA
- 「IAMAS:Progressive Media Art Education from Japan」リンツ美術工芸大学、リンツ、  
オーストリア
- 「釜山ビエンナーレ 2004 Contemporary Art Exhibition」釜山市立美術館、韓国
- 「NO-MA オープン記念企画展『私、あるいは私～静かなる燃焼系～』」ポダレス・アートギャラ  
リーNO-MA、近江八幡市、滋賀
- 「想画集 3」ヴォイスギャラリー、京都
- 「Mediarena : Contemporary Art from Japan」ゴベット・ブリュースター美術館、ニュープリマ  
ス、ニュージーランド
- 「六本木クロッシング：日本美術の新しい展望 2004」森美術館、六本木、東京
- 「Living Together is Easy」水戸芸術館現代美術ギャラリー、水戸、茨城／ヴィクトリア州立

美術館、メルボルン、オーストラリア

- 2003 「京都ビエンナーレ 2003」 京都芸術センター、京都  
「Everyday–Contemporary art from Japan, China, Korea, Thailand」 Kunstforeningen、  
コペンハーゲン、デンマーク  
「Elephant Machine」 IAMAS ギャラリー、岐阜  
「第 50 回ヴェネツィア・ビエンナーレ：緊急地帯」 アルセナーレ、ヴェネツィア、イタリア  
「九州力：世界美術としての九州」 熊本市現代美術館、熊本
- 2002 「現代美術への視点：連続と侵犯」 東京国立近代美術館、東京／国立国際美術館、大阪  
「三番瀬アートフェス 2002」 船橋市民ギャラリー、千葉  
「第 3 回国際共同美術展シティビデオインスタレーション秋葉原 TV」 秋葉原電気街、東京
- 2001 「FACTS OF LIFE：日本の現代美術」 ハイワードギャラリー、ロンドン、UK  
「Stay with Art」 Hotel T'point、大阪  
「I SING the Body Electric」 iamasOS、岐阜  
「ヴォイスギャラリー開廊 15 周年記念展『INDEX』」 ヴォイスギャラリー、京都  
「EXIT」 メゾン・デザール・ド・クレティユ、パリ、フランス
- 2000 「Multiple market メイド・イン・キョート」 ヴォイスギャラリー、京都  
「Confessions of a Voyeur」 Dulcinea、イスタンブール、トルコ  
「figurative sense」 京都芸術センター、京都
- 1999 「Media City 1999」 アートサイト、ウィンザー、カナダ  
「SKIN DIVE 感覚の回路を開く 第 9 回『芸術祭典・京』造形部門」 旧龍池小学校、京都  
「Windsor's International Festival of Independent Film and Video」 アートサイト、ウィンザー、カナダ  
「GENDAI」 グレン・アイラ市立美術館、グレン・アイラ、オーストラリア
- 1998 「どないやねん！」 フランス国立高等美術学校、パリ、フランス  
「そそりゆく音楽」 岐阜県上石津町日本昭和音楽村、岐阜
- 1996 「パイロット・ファーム」 アートスペース虹、京都
- 1994 「12 functions」 ギャラリーマロニエ、京都  
「大アート展」 ラフォーレ原宿、東京
- 1993 「ワンドフル・ライフ」 横浜ガレリア、神奈川
- 1991 「YKK (Yellow Kultur Konzept)」 大阪府立現代美術センター、大阪
- 1998 「12 月の卓上」 ヴォイスギャラリー、京都

## 主なパフォーマンス

- 2016 「ライブ・パフォーマンスとしての映像 1」 東京都庭園美術館 新館 ギャラリー2、東京
- 2014 「ジャパン・シンドローム～ step3. “球の外側”」 元・立誠小学校 職員室、京都

- 2013 「ジャパン・シンдрーム～ベルリン編」京都市役所前広場、京都
- 2012 「高嶺格 ジャパン・シンдрーム ～ step2 球の内側」京都芸術センター、京都  
「いかに考えないか？」山口情報芸術センター、山口/クイアザグレブ、クロアチア
- 2011 「Melody Cup」アイホール、兵庫/横浜赤レンガ倉庫1号館、神奈川  
「ジャパン・シンдрーム～関西編」京都芸術センター、京都
- 2010 「Melody Cup」パトラバディシアター、バンコク、タイ
- 2009 「Melody Cup」アイホール、兵庫  
「美しい前歯」京都造形芸術大学スタジオ21、京都
- 2007 「リバーシブルだよ、人生は。」アイホール、兵庫  
「オニキス・ドリームス」スーパーデラックス、東京
- 2006 「アロマロア エロゲロエ」アイホール、兵庫/京都造形芸術大学スタジオ21、京都  
「木村さん」クイアザグレブ、ザグレブ、クロアチア
- 2005 「もっとダーウィン」アイホール、兵庫  
「海馬Q」京都造形芸術大学スタジオ21、京都
- 2002 「木村さん」アイコン・ギャラリー、バーミンガム、イギリス
- 2001 「木村さん」アートリンクカフェ、SCAI THE BATHHOUSE、東京
- 1999 「K.I.T」デジタルバウハウス、NTT インターコミュニケーションセンター(ICC)、東京
- 1998 「オニキス・ドリームス」セイディ・ブロンフマン芸術センター  
(現シーガル舞台芸術センター)、モントリオール、カナダ  
「母太鼓ちんと計算ブン」岐阜県上石津町日本昭和音楽村、岐阜  
「Performance in Hiroshima」広島市現代美術館、広島  
「木村さん」国際情報科学芸術アカデミー(IAMAS)、岐阜
- 1997 「リアルタイムチャット」国際情報科学芸術アカデミー(IAMAS)、岐阜  
「7 virtues」国際情報科学芸術アカデミー(IAMAS)、岐阜
- 1996 「第5回メキシコパフォーマンスフェスティバル」エクステレサ、メキシコシティ、メキシコ  
「What can I do for you？」京都大学西部講堂、京都
- 1994 「キャバレー・ミニマリスト」P3 art and Enviroment、東京
- 1993 「あごのない人」第2回ソニーミュージック・アート・アーティスト・オーディション  
「テレ・オナルシス」ヴォイスギャラリー、京都
- 1991 「糸に巻かれる人」ヴォイスギャラリー、京都

### 主なパフォーマンス共同作品

- 2015 岡田利規作・演出「God Bless Baseball」舞台美術として参加、あうるすぽっと、東京  
/アジアシアター、光州、韓国
- 2011 Seven Angels by the Opera Group に舞台美術と衣装のデザイナーとして参加、

- ロイヤルオペラハウス（ロンドン）他、イギリス 7 都市
- 2007 寺田みさこ振付・出演「愛音」の舞台美術制作、世田谷シアターラム、東京／  
びわ湖ホール、滋賀
- 2004 金森穰振付「Black ice」の舞台映像・美術制作、新潟りゅーとぴあを皮切りに国内 8 都市で公演
- 2002 ムイ・チェクイン振付「Duet 3X」（香港）の舞台映像制作  
ダニエル・イン振付「PLAYBOYS」（香港アーツフェスティバル、香港）にプランナー、  
パフォーマーとして参加
- 2001 金森穰振付「Me/mento 4 am'ne'siac」（ネザールランド・ダンス・シアターII、オランダ  
他）の舞台映像制作
- 2000 オハッド・ナハリン振付「Naharin's Virus」（バットシェバ・ダンス・カンパニー）に  
プランナーとして参加
- 1999 弦楽二重奏「Consilience」（フィリップ・ボダン作曲）の舞台映像制作、バンフセンター、カナダ
- 1997 ダムタイプによるパフォーマンス「OR」に参加、フランス
- 1994 ダムタイプによるパフォーマンス「pH」に参加、フランス／カナダ
- 1993-96 ダムタイプによるパフォーマンス「S/N」に参加  
オーストラリアのアデレード・フェスティバルを皮切りに 24 都市 15 カ国で公演
- 1993 「生存権と開発権」（砂山典子、藪内美佐子との共同プロジェクト）、アトスペース無門館
- 1992 「僕のコーダイさんをティン！とさせてくれ」（中原浩大、西松鉦二、砂山典子との  
共同プロジェクト）、名古屋市美術館、愛知
- 1989-93 「地域さん」（西松鉦二とのノイズユニット）、日本国内各所にてライブ多数

## パブリック・コレクション

カディスト美術財団、サンフランシスコ、アメリカ  
 金沢 21 世紀美術館、金沢  
 京都国立近代美術館、京都  
 クイーンズランド州立美術館、ブリスベン、オーストラリア  
 熊本市現代美術館、熊本  
 Samso、ソウル、韓国  
 高橋コレクション  
 東京国立近代美術館、東京  
 豊田市美術館、愛知  
 広島市現代美術館、広島  
 宮津大輔コレクション  
 横浜美術館、神奈川